

## 5 機能別実態把握

これまで見てきたように、施設にはさまざまな用途があります。しかし、施設の用途が異なっても、施設の持つ機能に注目してみると、同じような使われ方をしているものもあります。隣接する他自治体や民間事業者と似た機能を有し、サービスを行っている施設もあります。

ここでは、貸し部屋機能、図書館機能、プール機能という3つの機能についての実態を把握し、今後の検討の視点を示します。

### (1) 貸し部屋機能の状況

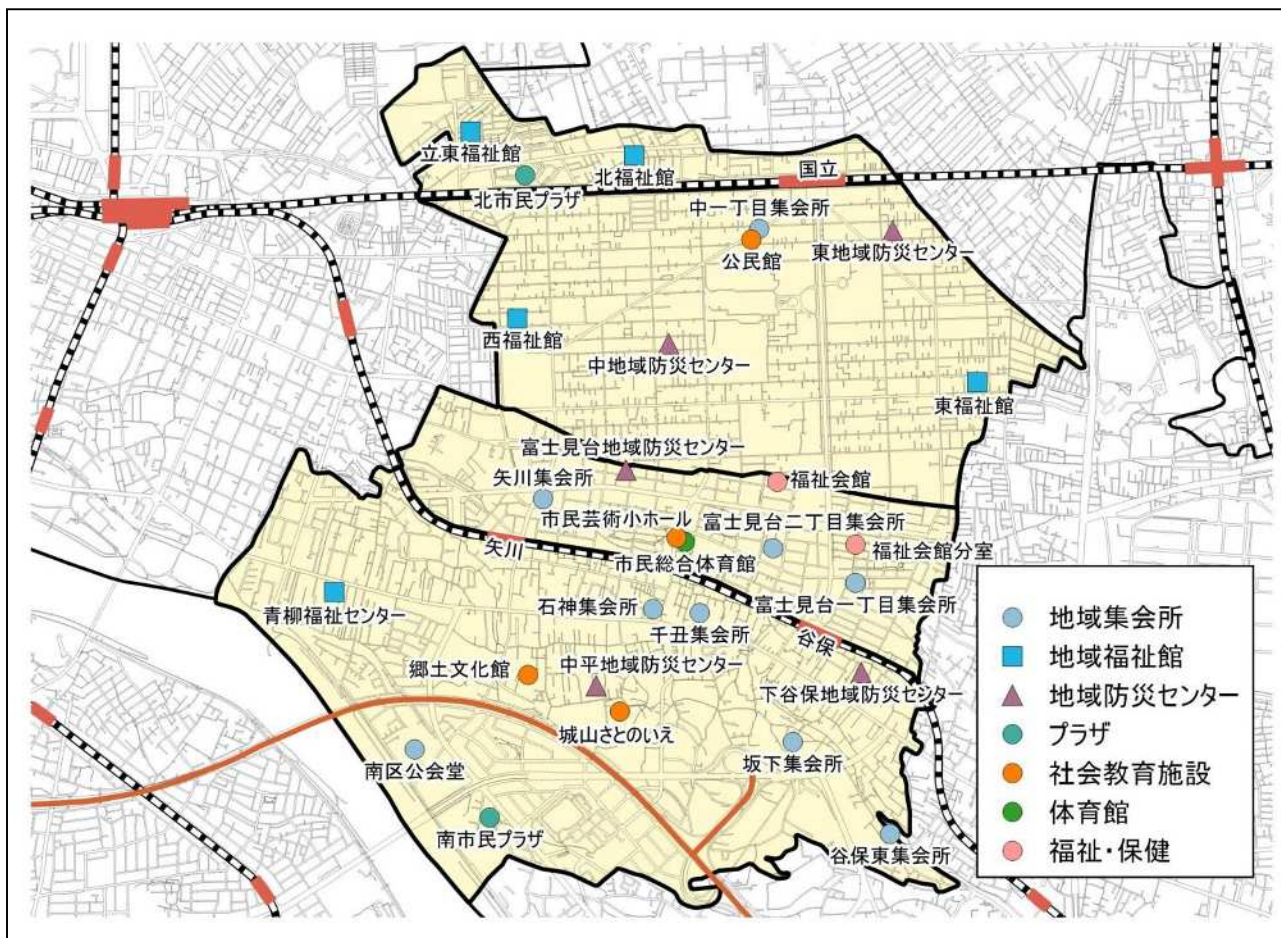
本市では28施設において、会議室や集会室、ホール等の貸出しを行っています。地域集会所、地域福祉館、地域防災センターといったコミュニティ施設は、比較的小規模な貸し部屋機能を有しています。市民プラザや公民館などは、100㎡以上のホールといった比較的規模の大きな貸し部屋機能や、音楽練習室等の特色を持った貸し部屋機能を有しています。貸し部屋という機能に注目してみると、施設の設置目的は異なるものの、似たような施設がたくさんあることが分かります。

施設ごとの利用状況をみると、南区公会堂ホールの稼働率が約87%と一番高くなっています。南区公会堂の稼働率が高い理由として、施設・設備が新しいこと、ショッピングセンターの敷地内にあり、利用しやすい立地であること等が挙げられます。他方で、稼働率が40%以下の施設も多く見られます。稼働率が低い理由として、同じ地域に類似施設が多くあること、施設・設備が老朽化していること、駐車場がなく利用しにくい立地であること等が挙げられます。

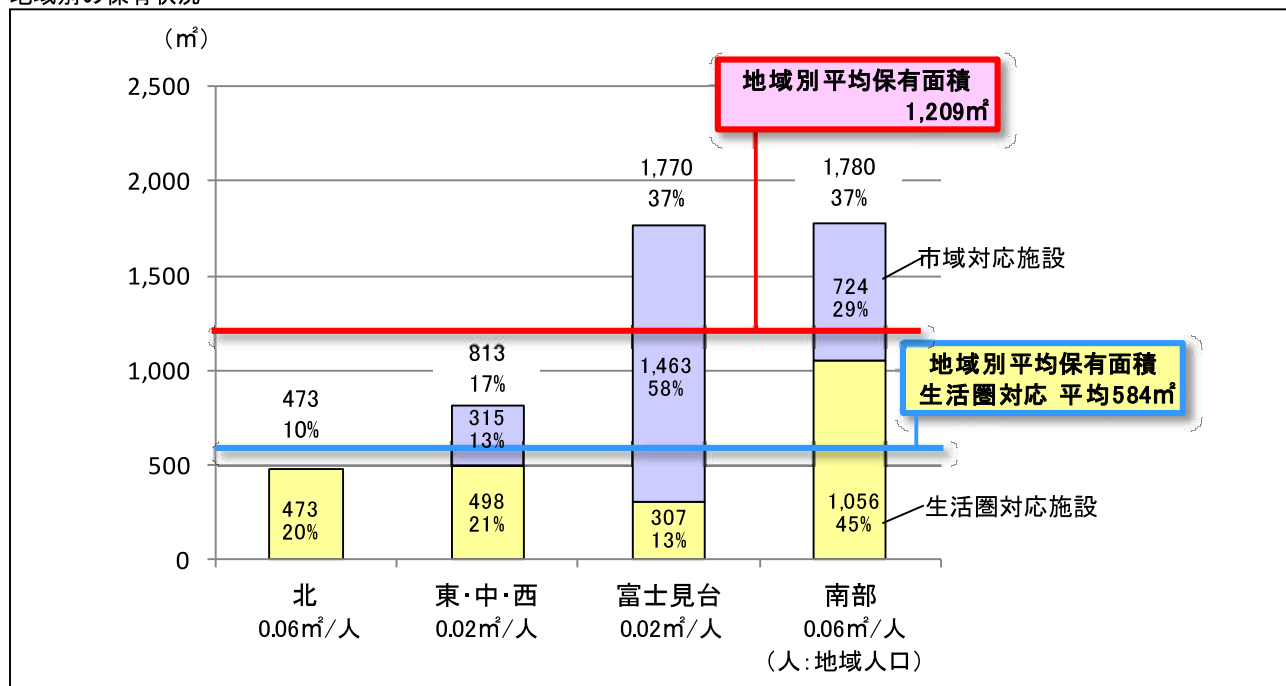
#### 貸し部屋施設一覧

分類	施設名	地域	貸室機能 (室数)					利用状況			
			ホール 100㎡	洋室 50㎡ 以上	50㎡ 未満	24畳 以上	24畳 未満	その他	利用人数 (人)	稼働率 (%)	
生活 圏 対 応 施 設	地域 集 会 所	1 矢川集会所		1						8,040	78%
		2 中一丁目集会所	東・中・西		1					5,062	62%
		3 千丑集会所	南部					2		2,728	9%
		4 坂下集会所	南部				1	1		5,276	17%
		5 石神集会所	南部				1	1		3,558	16%
		6 谷保東集会所	南部		1	1				4,788	24%
		7 富士見台二丁目集会所	富士見台				2			18,465	49%
		8 富士見台一丁目集会所	富士見台		1					9,452	62%
		9 南区公会堂	南部	1						13,256	87%
	地域 福 祉 館	1 立東福祉館	北			1		2		4,236	10%
		2 西福祉館	東・中・西			2	1	2		11,457	19%
		3 青柳福祉センター	南部		2			1		4,846	10%
		4 東福祉館	東・中・西		1	2	1	2		18,809	32%
		5 北福祉館	北			2		2		15,478	26%
	セ ン タ ー 防 災	1 中平地域防災センター	南部			1	1			2,503	9%
		2 東地域防災センター	東・中・西			1	1	1		10,833	37%
		3 下谷保地域防災センター	南部			1	1	1		10,190	23%
		4 富士見台地域防災センター	富士見台			1	1	1		17,950	49%
5 中地域防災センター		東・中・西			1	1	1		11,307	36%	
プ ラ ザ	1 北市民プラザ	北	1		2			1	32,562	69%	
	2 南市民プラザ	南部	1	1			1	1	11,283	17%	
市 域 対 応 施 設	社会 教 育 施 設	1 公民館	東・中・西	1	2	2		1	2	70,916	80%
		2 市民芸術小ホール	富士見台	2					3	42,746	50%
		3 郷土文化館	南部	1		1			2	19,658	43%
ス ポ ー ツ 福 祉 施 設 産 業	ス ポ ー ツ	1 市民総合体育館	富士見台			2				124,834	42%
		福 祉 施 設	1 福祉会館	富士見台	1	2	1	2		53,158	58%
	2 福祉会館分室		富士見台				1			2,116	58%
	1 城山さとのいえ	南部			2			2	—	—	
合計			8	9	25	14	21	11			

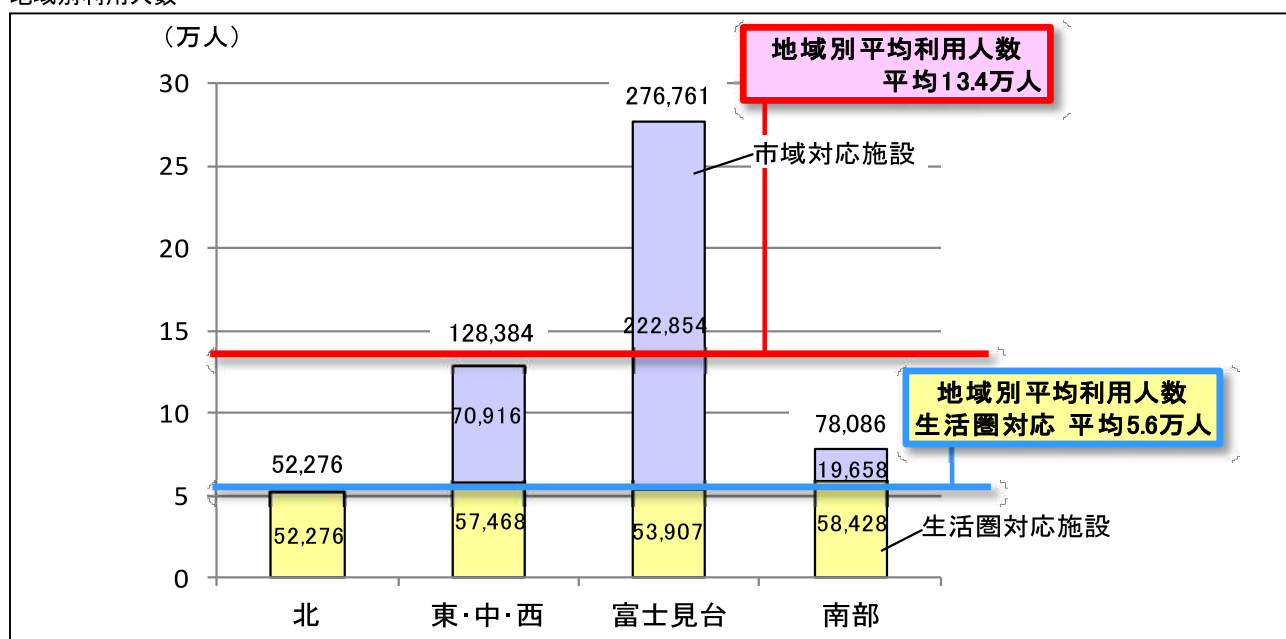
貸し部屋施設位置図



地域別の保有状況



地域別利用人数



生活圏対応施設の保有量を地域別にみると、南部地域が 1,056 m<sup>2</sup>となっており、全体の 45% を占めています。また、地域人口 1 人あたりの保有量では、北地域、南部地域が 0.06 m<sup>2</sup>となっており、他の 2 地域の 3 倍の保有量であることが分かります。地域別利用人数と併せて分析すると、富士見台地域は施設保有量が少ないものの、利用人数が多い傾向にあります。一方、南部地域は施設保有量が多いものの、利用人数が少ない傾向があります。

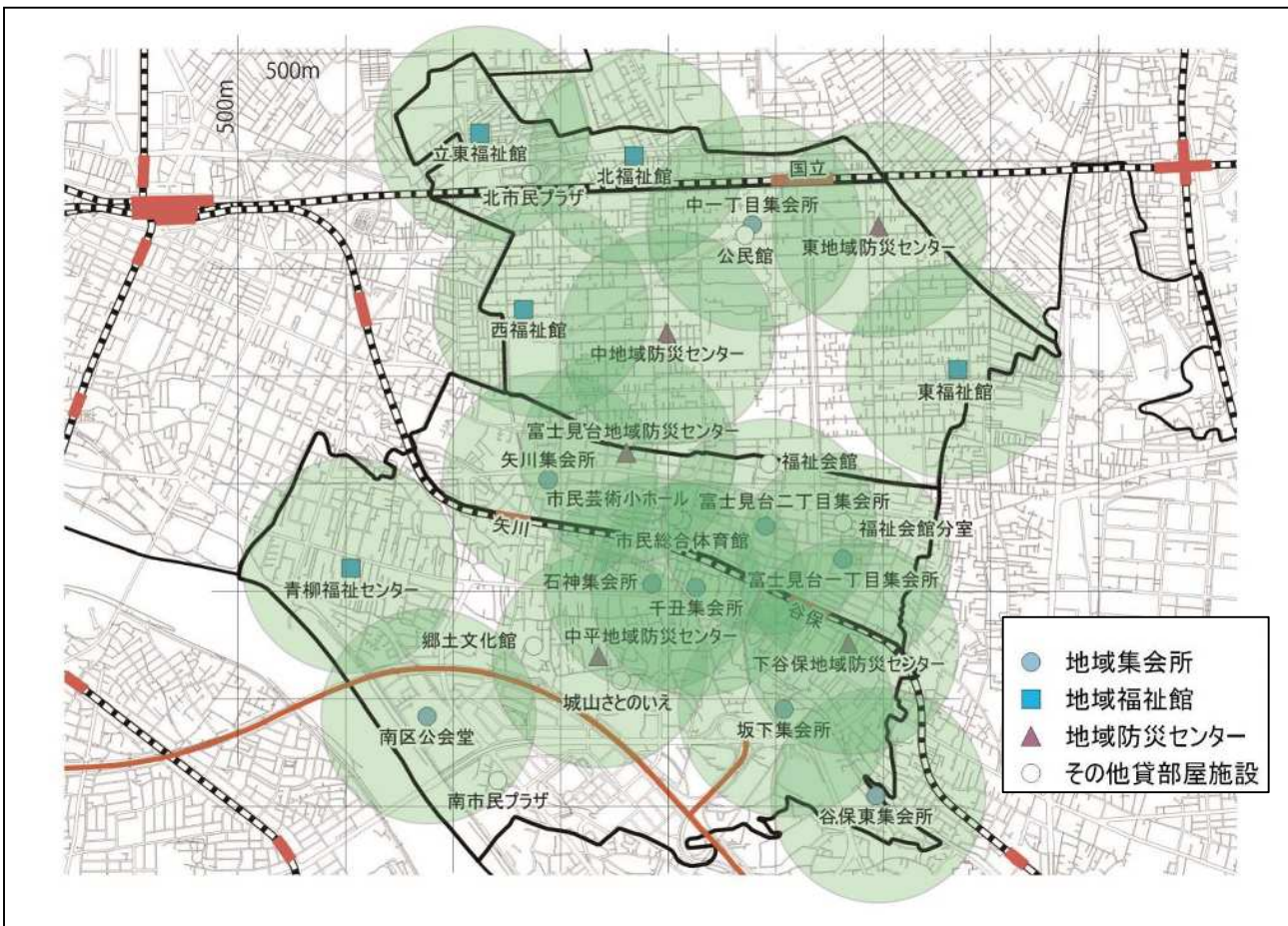
市域対応施設の保有量を地域別にみると、富士見台地域が 1,463 m<sup>2</sup>となっており、全体の 58% を占めています。富士見台地域は本市の中心に位置しており、福社会館や芸術小ホールといった比較的規模の大きな施設が集中して立地しているためです。

■ 生活圏対応施設（集会機能）の分析

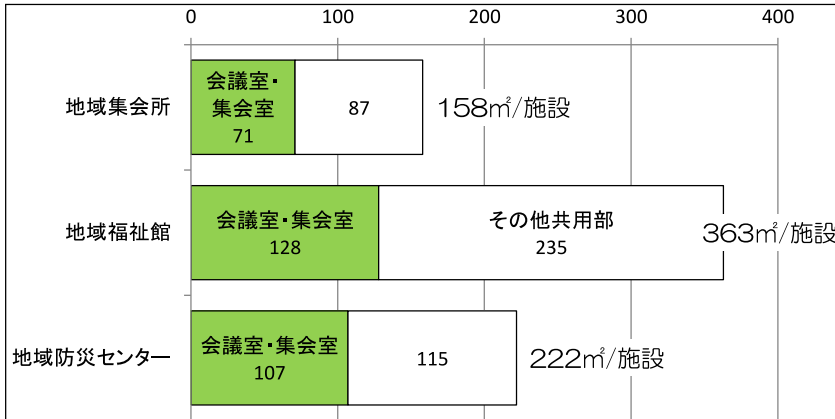
集会機能を有する生活圏対応施設には以下の3種類があり、本市ではこれらをコミュニティ施設として、半径500m間隔で設置する基準のもと整備を行ってきました。この3種類のコミュニティ施設は、用途別実態把握で整理したように、それぞれ異なる設置目的となっており、地域における配置状況も異なります。

	地域集会所	地域福祉館	地域防災センター
設置目的	集会の場として地域住民の利用に供し、地域社会の住民福祉の増進を図るため	地域社会の住民福祉の増進を図るため	地域住民の自主防災活動の拠点とし、防災知識等の普及啓蒙並びに日常的な地域社会のコミュニティ活動の増進を図るため
施設数	計 9施設 北地域 0施設 東・中・西地域 1施設 富士見台地域 3施設 南部地域 5施設	計 5施設 北地域 2施設 東・中・西地域 2施設 富士見台地域 0施設 南部地域 1施設	計 5施設 北地域 0施設 東・中・西地域 2施設 富士見台地域 1施設 南部地域 2施設

貸し部屋施設位置図（半径500mを図示したもの）

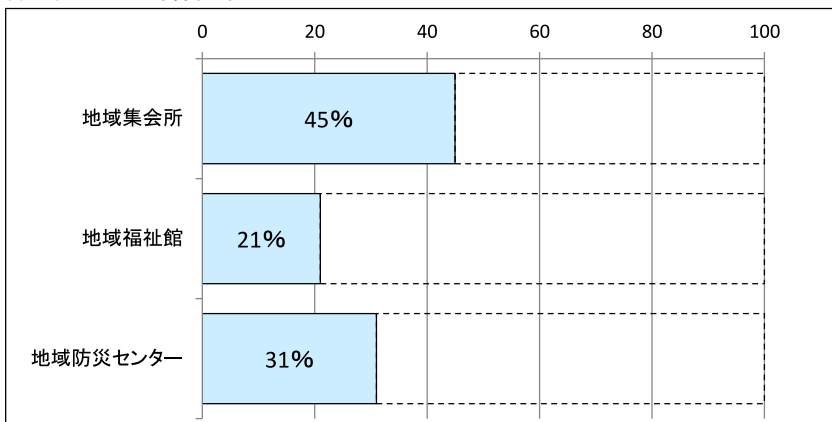


スペース構成



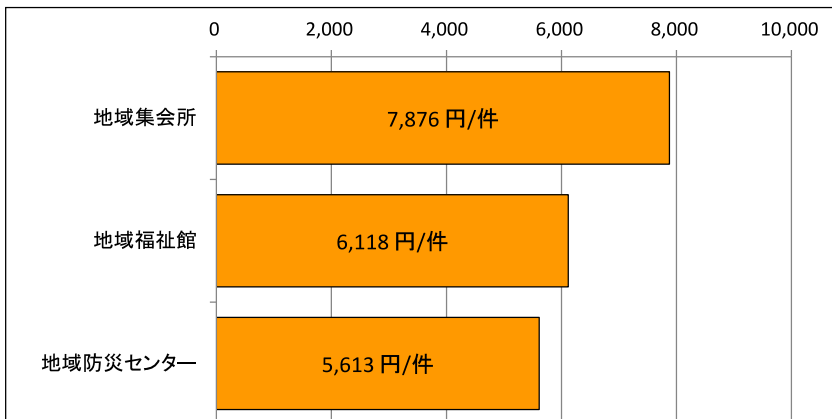
- ◆ スペース構成をみると、いずれも、会議・集会室の用途が半分以下であることがわかります。

利用状況（平均稼働率）



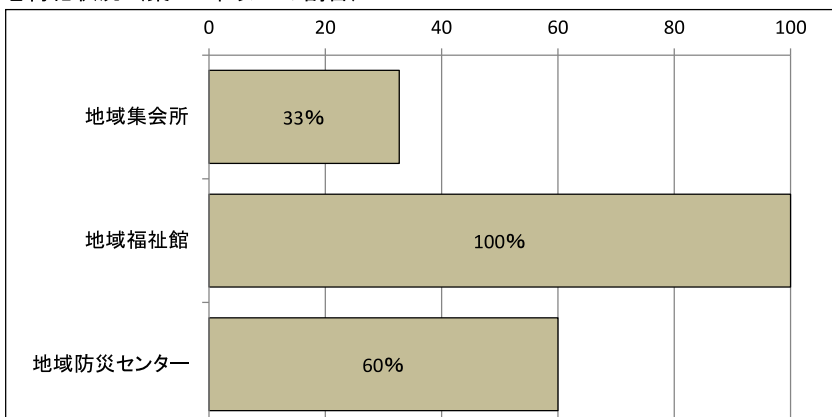
- ◆ 比較的近接して立地しているため、稼働率は低い水準にとどまっています。

利用1件当たりコスト



- ◆ 施設規模や利用状況を反映した利用1件当たりのコストは、約5,600円～約7,900円となっています。

老朽化状況（築30年以上の割合）



- ◆ 地域福祉館は、いずれも築30年以上経過しています。
- ◆ 一方で、地域集会所や地域防災センターは30%台で、老朽化状況に差が見られます。

**■ 今後の検討の視点**

本市では、地域の要望等に応える形で、貸し部屋機能を持った施設の整備を行ってきました。そして、これらの施設は、自治会活動などの地縁型コミュニティの活動の拠点、子育てサークルなどテーマ型コミュニティの活動場所などの役割を果たしてきました。

一方で、市内には多くの貸し部屋が存在しているながら、稼働率が40%に満たない施設が過半数を占めていることが分かりました。また、施設配置に偏在が見られることや、施設・設備が老朽化していること、バリアフリー対応の施設になっていないこと、駐車場がないこと等の課題も見えてきました。

他市では、稼働率の低い施設を他の施設に統合する事例や、小学校敷地内に地域施設を整備することにより、地域コミュニティの拠点としているような事例もあります。また、集会施設を自治会等へ譲渡した事例や、自治会等が集会施設を整備する際に補助金で支援する事例のように、施設の設置主体を行政から地域に移すことにより、利用者の利便性を上げるという取り組みを行っているところもあります。

今後の老朽化に伴う改修・更新を考える際には、各施設の役割を十分認識するとともに、類似機能を有する施設を横断的に捉え、稼働状況や地域の事情も勘案しながら、これからの貸し部屋機能のあり方を検討することが必要です。

## (2) 図書館機能の状況

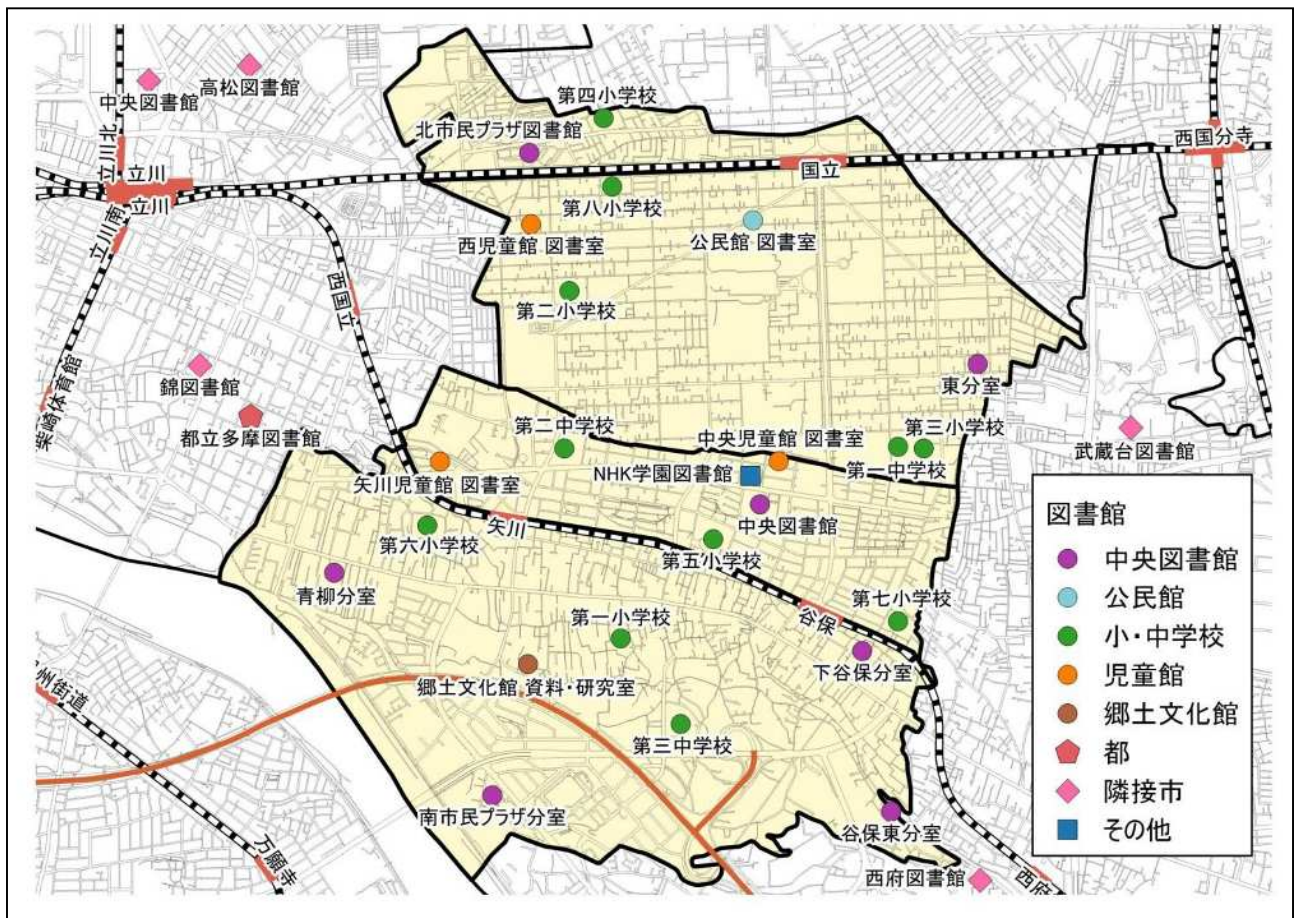
本市では、中央図書館のほか、北市民プラザ図書館、5箇所の図書分室、そして公民館図書室で、図書の貸出業務を行っています。また、近隣自治体である立川市、国分寺市、府中市とは図書館の相互利用協定を締結しており、国立市民はこれら3市の図書館を利用することができます。

その他、図書の貸出しという機能面からみると、対象者は子どもに限られますが、児童館図書室や小・中学校の学校図書館でも図書の貸出しを行っています。また、郷土文化館においても、資料・研究室の図書を図書館システムで検索できるほか、閲覧することができます。

## 公立図書館・図書室等一覧

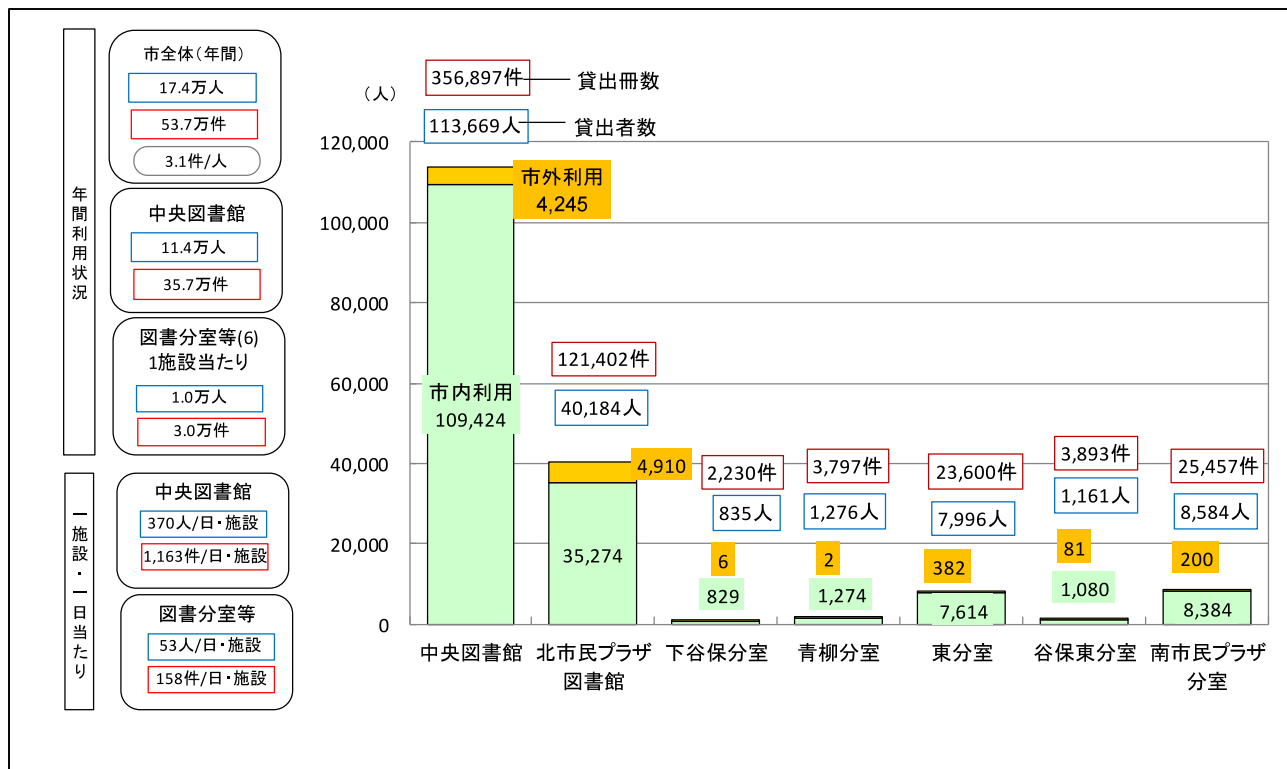
	施設名	所在地	延床面積	建築年(年度)	図書資料		その他		合計	貸出冊数
					一般書	児童書	視聴覚資料	新聞・雑誌類		
中央図書館	中央図書館	富士見台2-34	1511.0	昭和49	170,419	37,892	2,641	195	211,147	201,014
	北市民プラザ図書館	北3-1-1	570.0	平成9	50,532	22,853	868	95	74,348	139,634
	下谷保分室	谷保5066	31.6	昭和59	2,045	3,918	0	13	5,976	4,308
	青柳分室	青柳244	25.0	昭和50	1,200	4,040	0	12	5,252	5,281
	東分室	東3-18-32	102.3	昭和53	5,148	7,322	0	25	12,495	32,729
	谷保東分室	谷保135-1	41.0	平成3	1,267	4,490	0	19	5,776	4,361
	南市民プラザ分室	泉2-3-2	535.0	平成9	57,141	20,541	308	33	78,023	34,590
	公民館図書室	中1-15-1	119.0	昭和53	24,591	0	0	53	24,052	35,718
	郷土文化館 資料・研究室	谷保6231	70.6	平成5	17,778	0	0	2	17,780	0
児童館	中央児童館 図書室	富士見台2-38-5	38.3	平成3	0	3,754	0	0	3,754	812
	矢川児童館 図書室	富士見台4-17-1	49.5	昭和45	0	884	0	0	884	1,676
	西児童館 図書室	西1-12-26	45.5	昭和57	0	3,910	0	0	3,910	1,008
小学校	第一小学校 図書館	谷保6026	99.1	昭和39	0	11,006	0	1	11,007	9,430
	第二小学校 図書館	西2-13	109.6	昭和38	66	9,712	0	0	9,778	11,756
	第三小学校 図書館	東4-24-1	86.0	昭和46	0	11,677	0	1	11,678	20,021
	第四小学校 図書館	北2-29	156.0	昭和44	0	12,999	0	1	13,000	9,711
	第五小学校 図書館	富士見台2-47-2	98.5	昭和40	29	13,436	0	0	13,465	21,575
	第六小学校 図書館	谷保6600	144.6	昭和44	0	11,936	0	0	11,936	9,711
	第七小学校 図書館	富士見台1-47-7	108.3	昭和46	44	11,675	0	0	11,719	17,396
	第八小学校 図書館	中1-3-1	130.5	昭和53	0	11,160	0	4	11,164	16,335
中学校	第一中学校 図書館	東4-24-1	184.5	昭和37	19,757	0	3	6	19,766	4,562
	第二中学校 図書館	富士見台3-30	149.9	昭和37	17,939	0	0	4	17,943	4,947
	第三中学校 図書館	谷保1348-1	129.8	昭和50	13,602	0	0	8	13,610	1,864

図書館位置図





年間貸出件数・年間貸出者数（再掲）



図書館・分室	開館日数	貸出者数	貸出冊数	予約冊数	登録者数
	日	人	冊	冊	人
中央図書館	307	113,669	356,897	20,220	2,257
北市民プラザ図書館	307	40,184	121,402	4,948	614
下谷保分室	96	835	2,230	240	4
青柳分室	98	1,276	3,797	115	15
東分室	250	7,996	23,600	0	111
谷保東分室	97	1,161	3,893	113	16
南市民プラザ分室	295	8,584	25,457	1,399	90
図書館 合計		173,705	537,276	27,035	3,107

本市の図書館以外に、国立市民が利用することのできる図書館は下記のとおりです。都立多摩図書館の他、図書館相互利用協定を締結している立川市、国分寺市、府中市の図書館も利用することができます。

また、NHK 学園図書館は、月2回、国立市民向けに図書館の一般開放を行っており、図書の閲覧及びインターネットの利用をすることができます。

隣接市等の図書館一覧（平成26年度）

	施設名	所在地	延床面積	建築年 (年度)	蔵書総数	一般書	貸出件数	貸出者数
都	都立多摩図書館※	立川市錦町6-3-1	4,351	—	680,449	—	—	—
立川市 (9)	中央図書館	曙町2-36-2	4,951	平成6	509,417	356,126	586,585	250,179
	柴崎図書館	柴崎町2-20-5	357	平成26	26,707	14,049	63,797	20,209
	上砂図書館	上砂町1-13-1	669	平成12	74,526	41,329	184,186	49,127
	幸図書館	幸町5-83-1	110	昭和53	23,445	11,540	118,098	37,402
	西砂図書館	西砂町6-12-10	405	昭和53	60,218	31,672	166,875	47,447
	多摩川図書館	富士見町6-51-1	629	昭和53	86,252	54,383	92,150	27,781
	高松図書館	高松町3-22-5	341	昭和54	49,235	26,727	90,850	27,773
	錦図書館	錦町3-12-25	529	昭和59	71,612	44,032	188,774	58,069
	若葉図書館	若葉町3-34-1	351	昭和60	60,104	35,484	222,957	68,416
国分寺市 (5)	本多図書館	本多1-7-1	963	昭和57	139,615	—	306,006	—
	駅前分館	本町4-1-9	—	—	5,055	—	17,460	—
	もとまち図書館	東元町2-3-13	583	昭和53	106,357	—	125,886	—
	恋ヶ窪図書館	西恋ヶ窪4-12-8	637	昭和47	117,118	—	194,387	—
	光図書館	光町3-13-19	615	昭和49	138,890	—	184,330	—
	並木図書館	並木町2-12-3	609	昭和63	99,425	—	161,027	—
府中市 (13)	中央図書館	府中町2-24	6,077	平成19	905,083	766,824	1,305,550	453,621
	白糸台図書館	白糸台1-60	207	昭和45	53,551	30,871	144,838	49,363
	西府図書館	西府町1-60	246	昭和46	49,146	29,930	64,680	19,750
	武蔵台図書館	武蔵台2-2	237	昭和48	49,902	32,565	92,773	29,331
	新町図書館	新町1-66	223	昭和48	41,646	26,515	63,432	22,319
	住吉図書館	住吉町1-61	255	昭和48	50,179	32,797	127,100	41,789
	是政図書館	是政2-20	246	昭和49	46,859	28,111	88,826	27,063
	紅葉丘図書館	紅葉丘2-1	208	昭和50	45,041	27,527	91,154	28,615
	押立図書館	押立町5-4	156	平成26	18,415	9,637	15,081	5,749
	四谷図書館	四谷2-75	180	昭和52	30,324	16,828	55,457	18,437
	片町図書館	片町2-17	228	昭和62	37,736	21,647	86,589	29,708
	宮町図書館	宮町3-1	242	昭和41	36,757	19,999	82,041	32,556
	生涯学習センター	浅間町1-7	1,107	平成4	52,731	38,093	117,893	40,572

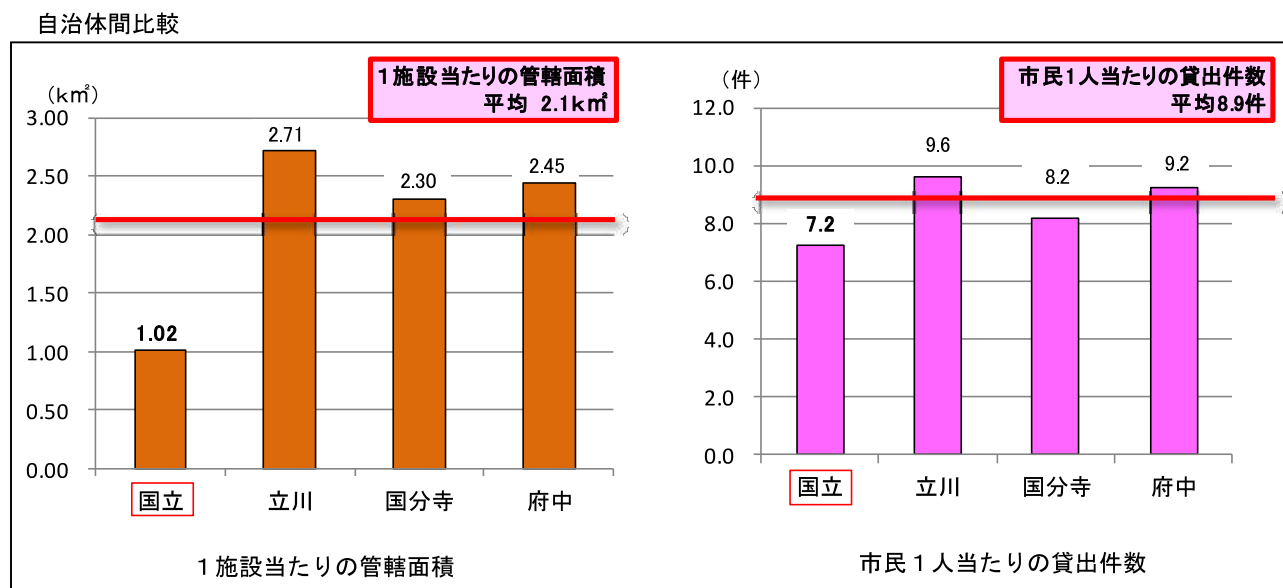
(出典) 各市図書館業務報告書等

※都立多摩図書館は平成29年1月に国分寺市泉町に移転する予定です。

■ 自治体間比較による実態把握

本市と隣接自治体（立川市、国分寺市、府中市）における1施設あたりの管轄面積をみると、他の3市の平均は2.49 k m<sup>2</sup>のところ、本市は1.02k m<sup>2</sup>となっています。本市は市域に対して密に図書館を配置している一方、図書館の規模は小規模となっていることが分かります。

市民1人あたりの貸出冊数は、本市は7.2件で最も低くなっており、他の3市は8.2件から9.6件となっています。



■ 今後の検討の視点

本市では、中央図書館の他、北市民プラザ図書館、公民館図書室、5つの図書分室という形で、市域に対して密に図書館・図書室を配置してきました。また、これらの施設では、インターネット予約システムを利用することにより、予約本の受け取りもできます。

しかし、図書分室などは小規模な施設であり蔵書数や開館日数が限られていることから、貸出者数、貸出冊数ともに少なくなっています。

他市では、学校の建替時に地域の図書館を複合化している事例があります。それにより、児童・生徒が地域図書館を利用することが可能になったり、図書館司書が両施設を一体的に管理することで効果的・効率的な運営が可能となっているようです。また、指定管理者制度を導入することにより利用時間の拡大などサービスの拡充を目指している事例もあります。

こうした他市事例も参考にしながら、地域の実情や市民の要望を踏まえた図書館のあり方について検討することが必要です。

(3) プール機能の状況

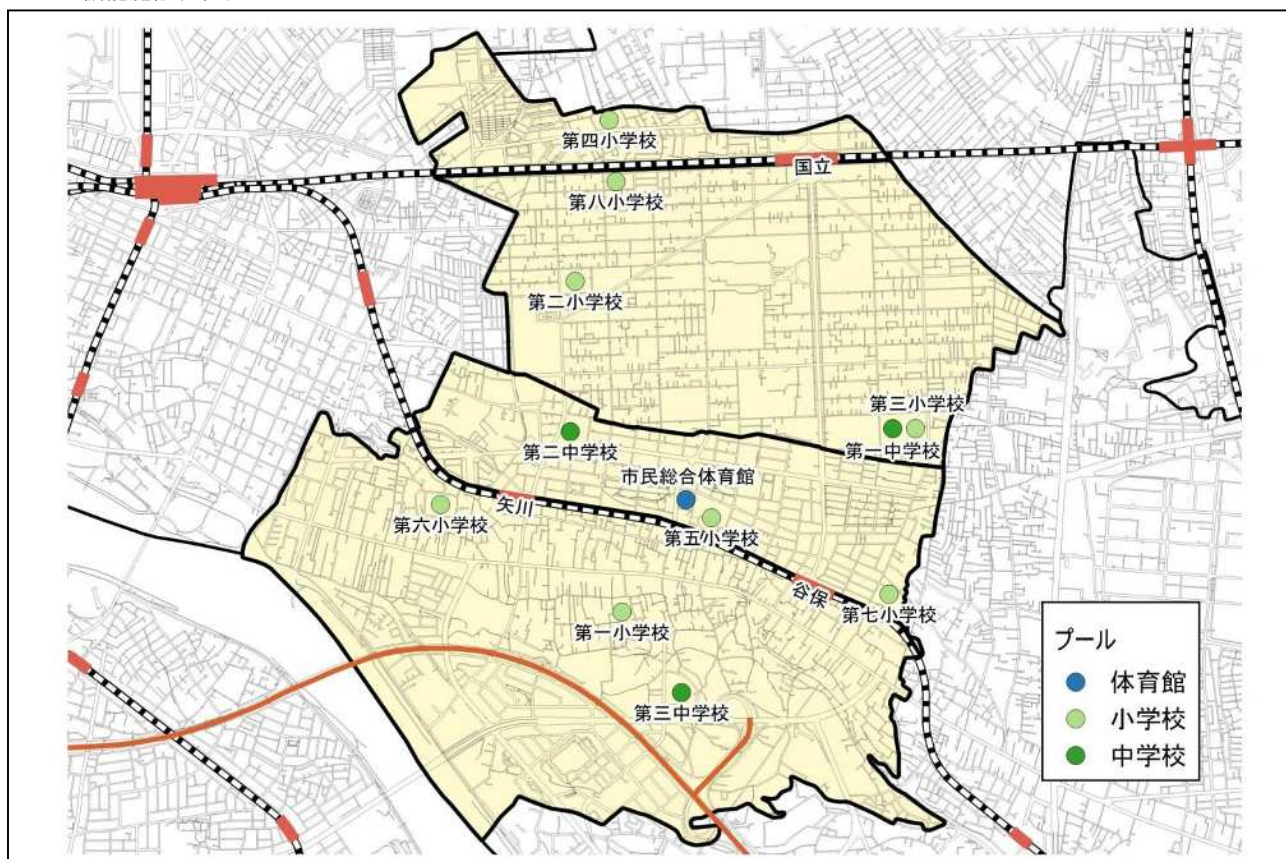
本市には市民総合体育館の屋内プール1施設と、小・中学校の屋外プール11施設があります。第一小学校、第三小学校、第四小学校、第二中学校では、学校開放の一環として、夏季期間中にプール開放を行っています。その他、民間のスイミングスクールやスポーツクラブにもプールがあります。

学校のプールは屋外にあり、床面積としては、本市の公共施設約12万㎡の中には含まれていません。しかし、小・中学校のプールも建物と同様に築30年以上となっており老朽化しています。

国立市公立プール一覧

	施設名	所在地	延床面積	建築年(年度)	備考
	市民総合体育館 屋内プール	富士見台2-48-1	61238.0	昭和57	25m 5コース 深さ1.1~1.3
小学校	第一小学校 屋外プール	谷保6026		昭和39	25m 6コース 深さ0.9~1.1
	第二小学校 屋外プール	西2-13		昭和38	〃
	第三小学校 屋外プール	東4-24-1		昭和46	〃
	第四小学校 屋外プール	北2-29		昭和44	〃
	第五小学校 屋外プール	富士見台2-47-2		昭和40	〃
	第六小学校 屋外プール	谷保6600		昭和44	〃
	第七小学校 屋外プール	富士見台1-47-7		昭和46	〃
	第八小学校 屋外プール	中1-3-1		昭和53	〃
中学校	第一中学校 屋外プール	東4-24-1		昭和37	25m 6コース 深さ1.0~1.2
	第二中学校 屋外プール	富士見台3-30		昭和37	〃
	第三中学校 屋外プール	谷保1348-1		昭和50	〃

プール機能施設位置図



■市民総合体育館プール

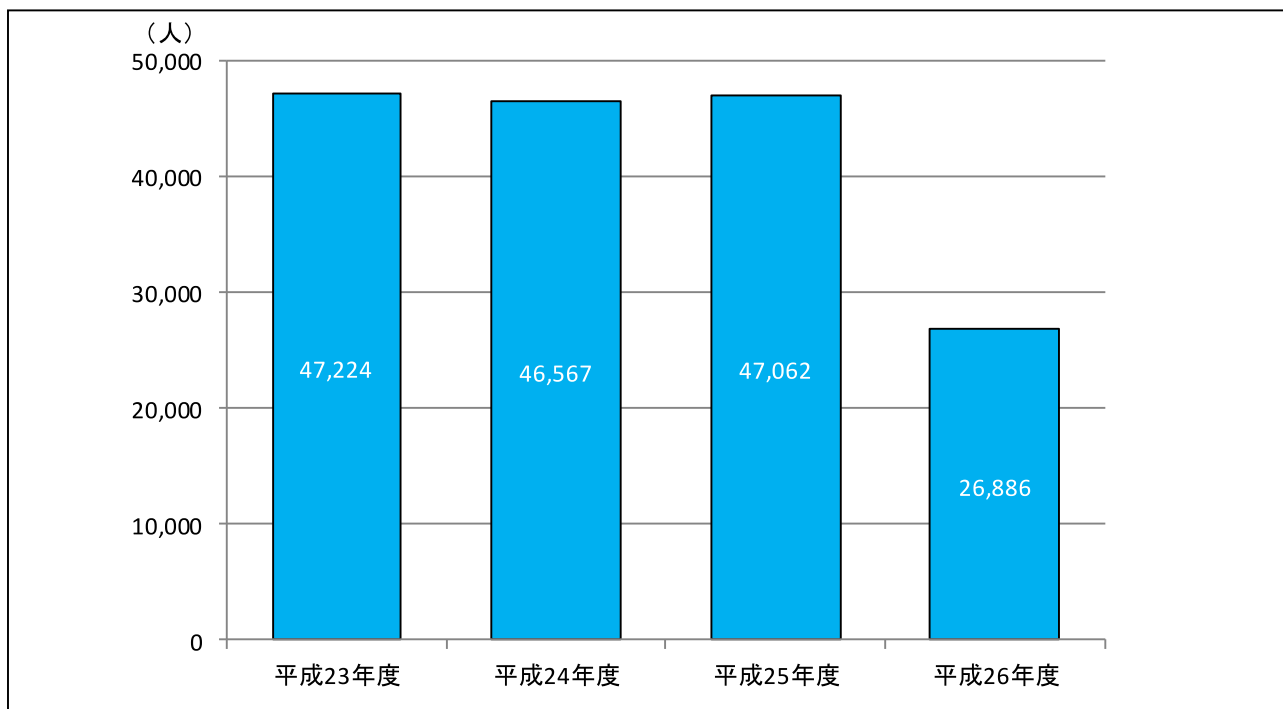
市民総合体育館には 25m×5 コースのプールがあります。平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間の利用者数の推移をみると、4.7 万人前後で推移しています。平成 26 年度は耐震改修工事の期間中（8 月 1 日から 12 月 12 日まで）休館していたため、2.7 万人程度となっています。

平成 25 年度の利用者数 47,062 人を開館日数 335 日で割ると、1 日あたりの平均利用者数は 140 人となります。市民総合体育館は午前 9 時から午後 9 時までの 12 時間開館しているので、1 時間あたりの平均利用者数は 12 人となります。



市民総合体育館 屋内プール

屋内プール利用者の推移（再掲）



■学校プール

文部科学省が定める学習指導要領の中で、プールの授業は必修科目とされています。プールの設置義務はありませんが、本市は、小・中学校全校に屋外プールを設置しています。

小・中学校のプールは、主に夏季の期間中、児童・生徒が水泳の授業を行うために用いられています。プールを本来の目的である授業で用いるのは、6月・7月・9月の3ヶ月に限られます。また、屋外のプールであることから、水泳の授業ができるかどうかは、水温や天候によって左右されるため、実際の稼動状況は更に少なくなります。

その他、環境教育の一環として、小学生を対象に「ヤゴ救出作戦」というイベントを毎年実施しています。これは、学校のプール内に生息するヤゴを、プール開き前に救出する事業です。

また、学校プールは常時水を張っており、火災があった際の消防水利としての利用や、災害時における飲料水、マンホールトイレ用水としての利用が想定されています。

■学校のプール開放（再掲）

社会教育法第44条第1項「学校の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならない。」の規定を受け、本市でも学校開放の一環として、プール開放を実施しています。

プール開放は、平成12年度で終了した清化園プールの代替事業として、平成13年度よりスタートしました。当初は第三小学校と第二中学校のみの開放でしたが、利用者からの要望を受け、平成18年度より第一小学校、第四小学校も開放することになりました。

この事業を行うために、平成26年度は6,067,440円（プール開放用備品管理委託料721,440円＋プール開放管理運営業務委託料5,346,000円）を支出しています。これを利用者数1,811人で割ると、利用者1人あたりのコストは3,350円となります。

■プールの開放状況

①小学校

- ア. 期 間 平成26年8月7日（木）～8月16日（土） 10日間
- イ. 開放状況 天候不良等による中止日 1日

学校名	利用者区分			合計	一日平均利用者数
	幼児	小学生	保護者		
第一小学校	34人	272人	57人	363人	40人
第三小学校	28人	402人	49人	479人	53人
第四小学校	34人	390人	39人	463人	51人

②中学校

- ア. 期 間 平成26年8月1日（金）～8月17日（日） 17日間
- イ. 開放状況 天候不良等による中止日 1日

学校名	利用者区分			合計	一日平均利用者数
	中学生	高校生	大人		
第二中学校	12人	12人	482人	506人	32人

**■ 今後の検討の視点**

本市では小・中学校全校に屋外プールを設置してきました。児童・生徒の水泳授業に使用する他、市民への一般開放や環境教育にも用いられてきました。また、常時張っている水は、災害時等の利用が可能です。

しかし、学校プールも施設・設備の老朽化が進み、プール水槽内やプールサイドの塗膜の劣化や、ろ過装置の不具合等が増加しています。毎年度、修繕により対応していますが、今後も施設の老朽化に伴う修繕が多くなることが予想されます。

他市では、学校敷地内に複合施設として屋内プールを整備し、学校で使用する時間以外は地域に開放しているところもあります。また、学校のプールを拠点化し、複数の学校で使用しているところや、市内にある総合体育館等の温水プールを利用して水泳の授業をすることとし、学校のプールを廃止しているところもあります。それ以外でも、本市の場合には、市内に民間のスイミングスクールやスポーツクラブがあるので、民間事業者との連携を模索することも考えられます。

こうした他市事例も踏まえながら、児童・生徒にとって望ましい水泳授業のあり方や、市民が利用しやすいプール施設のあり方等について検討することが必要です。

